

授業科目                      相談援助各論 IV

【担当教員名】  豊田 保		対象学年	3	対象学科	社会
		開講時期	後期	必修選択	必修
		単位数	2	時間数	30
【カリキュラムポリシーとの関連性】					
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	
◎	◎	○	◎	◎	
【概要・一般目標：G10】 相談援助の様々な実践モデルを理解する。 スーパービジョンとコンサルテーションを修得する。					
【学習目標・行動目標：SBO】 相談援助における治療モデル、生活モデル、ストレングスモデルを理解する。 相談援助における心理社会的アプローチ、機能的アプローチ、問題解決アプローチを理解する。 相談援助における危機介入アプローチ、行動変容アプローチ、エンパワメントアプローチを理解する。 スーパービジョンについて理解する。 コンサルテーションについて理解する。 ケースカンファレンスの方法について理解する。					
回数	授業計画・学習の主題			SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	治療モデル				講義による学習（以下、同じ）
2	生活モデル				
3	ストレングスモデル				
4	心理社会的アプローチ				
5	機能的アプローチ				
6	問題解決アプローチ				
7	課題中心アプローチ				
8	危機介入アプローチ				
9	行動変容アプローチ				
10	エンパワメントアプローチ				
11	スーパービジョンの意義と目的、方法				
12	コンサルテーションの意義と目的、方法				
13	ケースカンファレンスの意義と目的、方法				
14	相談援助における個人情報の保護				
15	まとめ				
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)		相談援助の理論と方法 II	白澤政和ほか編	中央法規出版	2011
参考書					
その他の資料					
【評価方法】 期末試験またはレポートによる			【履修上の留意点】 教科書を読了すること		